

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■発展プリント

単元:4 東アジア世界のかかわりと社会の変動

【評価の観点】 ㉞：思考・判断・表現 ㉟：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>㉞ (1) 戦乱ー弘安の役 理由ー元の襲来に備えて 石塁が築かれているため。 (20字)</p> <p>㉟ (2) エ</p> <p>㊦ (3) イ</p>	<p>㉞ (1) 史料からは石塁の上に武士が陣取っていることが分かる。文永の役で元軍の上陸を許し苦戦した幕府は、役後、北九州沿岸の警備を強めるとともに、主に九州の御家人や有力な土地所有者に命じて、博多湾岸に石塁をつくらせた。石塁の高さ・幅はともに約2mで、築かれた石塁の総延長は20kmに達するとされている。</p> <p>(2) ア 鎌倉時代の相続は分割相続が一般的であったことから、時代を経るにしたがって所有する領地は狭くなっていった。また、鎌倉時代は女性の地位が高く、地頭に任命される女性もいた。</p> <p>イ 徳政令により御家人の生活は一時的に楽になったが、御家人に金を貸すものがいなくなり、御家人の生活はより苦しくなった。</p> <p>ウ 元寇は防衛戦争であったことから、元軍を退けることができても新たに領地を得ることができなかった。</p> <p>エ 鎌倉時代、地頭の力が強まり荘園をめぐる領主との対立が深まった。</p> <p>(3) 高麗は1259年モンゴルに従い、南宋は1279年に元に滅ぼされている。</p>
<p>㉞ (1) 借金</p> <p>㉟ (2) イ→エ→ア→ウ</p> <p>㊦ (3) 分国法</p> <p>㊧ (4) 銀閣</p>	<p>㉞ (1) 資料1は奈良市の柳生街道にある巨石に刻まれた27文字を示している。1428年、近江(滋賀県)の馬借が徳政令を求めておこし、広まった一揆で、神戸4か郷の借金を帳消しにさせた成果を記している。</p> <p>(2) アー1378年である。足利義満が幕府を移した御所は「花の御所」とよばれている。</p> <p>イー1336年である。後醍醐天皇の建てた朝廷が南朝、足利尊氏が建てた朝廷が北朝である。</p> <p>ウー1404年である。足利義満は1401年に明との間で国交を開いている。</p> <p>エー1338年である。足利尊氏は北朝の光明天皇から征夷大将軍に任じられた。</p> <p>(3) 資料2は、福井県を支配した朝倉氏の「朝倉孝景条々」、山梨県などを支配した武田氏の「甲州法度之次第」の一部である。</p> <p>(4) 銀閣は1489年に造営された。</p>